

研究者氏名：岡本 嘉久一

調査・活動テーマ：～地域資源を活かした地域価値の向上～

旭南地区の大草城などの歴史文化を調べ、まちづくりに活かす

調査・活動の目的

地域には大草城という歴史文化的には貴重なものがあるが、大草公園という一地区のもののようにあったのを、「文化財探訪マップ」、「マップ大草城」などで旭南地区には認知してきた。しかし城主の織田源五長益のちの有楽斎にしても、書類による情報なのでその足跡にしても、有楽流茶道にしてもどこでどう伝わっているのか、その素晴らしさをどう深く伝えていくかは、実際に現地を見て伝えるために写真を撮り、その精神性などに触れながら歴史文化を調べ、今後のまちづくりに活かしていきたい。

調査や活動の取組内容および達成状況・成果内容

1. 有楽斎の足跡調査

元大草城主の織田源五長益のちの有楽斎の足跡をたどった。

- ・大阪城・大阪城で秀吉に仕えたので、城や周りをみた。外観もそうだが内部も日本の城の代表としてのものだった。展示などは外国語の説明も入れ、また動画でわかりやすくしている。
- ・名古屋城 本丸御殿・天守閣の工事にかかる前に登城した。内部の展示物で本物にこだわりすぎで全体では外国人にはわかりにくい面もある。本丸御殿は城以上に名古屋の記憶として残るものだろう、おかげ横丁など見るだけでなく観光産業として力を入れている。
- ・小牧山・家康に加勢したことで有名な小牧山は山を徳川（義親）が、そして天守閣を模した歴史館を名古屋の篤志家が寄付したことを知った。石垣（初めてここで使用）など埋蔵発掘調査が続けられていて、その写真も各所に展示してある。小牧市が「小牧山課」と行政の組織も作って観光に力を入れているのに驚いた。参考にしたい。

・清洲城・織田家で名古屋城に写る前のものだが、清洲町と小さい行政の城にしてはこじんまりとした中に工夫が見える。中の展示にしては現在ではここが一番と思えるほどだ。

・犬山城 有楽苑 如庵 元庵・犬山ではいつも国宝犬山城と、茶室の如庵を見るため有楽苑に行くが大坂城出仕時代の有楽斎の居室の元庵を初めて見た。伝庵でお茶を飲んだが有楽茶道でなく千家流でのお茶と聞いて、がっかり。有楽流茶道であってほしい。1本だけある有楽椿に今年は花がすくなかった（猛暑のためか？）

・正伝永源院・有楽斎が二条城から下がり、晩年を過ごした場所。有楽斎の精神性を感じた。京都、建仁寺塔頭の正伝院は細川家の菩提寺ともなって正伝永源院となっている。如庵と同寸法の茶室もあるし、美しい庭や適切などころに有楽椿が植えられている。なにより素晴らしいのは有楽斎の座像があることだ。副住職ご夫妻に有楽流茶道でのお茶を頂いた。

●有楽斎の足跡をたどって信長・家康・秀吉という3英傑に仕え、味方しながら戦国時代を生きて如庵や正伝院などの建物、有楽流茶道という文化を、よくぞ残して頂いたと思う。少しでもその精神性を有楽椿で、講演会などで伝えていきたい。

2. 有楽斎・大草城などの情報収集

・知多市文化財資料「大草城跡」（知多市教育委員会編集）大草城については、この調査書が一番参考になる。

・徳川美術館 蓬左文庫にて名古屋市博物館特別利用許可書をえた。大草城関係の古地図（大草村古城絵図。大草村大野村御絵図）

●いままでの情報を深掘りして、大草城関係の展開をするとき参考になる。

3. 大草城の活性化と認知活動

・有楽椿の育成、養生

3年前の植樹以来、水やり・草取り・肥料入れなどしてきたが十数本枯れたので、昨年 10 本補充の植樹をして現在 38 本の有楽椿が育っている。12 月～3 月に毎年数本には花が咲く。大草城に有楽椿の苑をつくり、大草城をより親しみ深いものとしたい。

・大草城を安全安心に

県下でも本丸・二の丸と周囲の土塁と内堀の大部分がほぼ完全な形で残っている城址として知られているが、何十年少なくとも数年は手を入れてなかったので「鬱蒼としている」「子供がどこにいるかわからない」との声があった。より安全安心のイメージになるよう大草区の人と旭南をよく知ろう会共同で樹木の伐採などした。知多市の花と緑の推進課も以前の要望も考慮して樹木の伐採をすすめたので、明るく安全安心なところとなった。

・新舞子北サロン（隣の旭北地区）にて「大草城」を講演した。

毎年 1～2 回旭まちづくりセンターで旭南コミュニティ講演会を旭南をよく知ろう会がしている。新舞子北サロンから要請があったので大草城、新舞子マリンパークなどを岡本が講演した。今後も知多市に限らず常滑の大野地区など含め認知活動していきたい。

優れた効果・成果があがった点

- ・有楽斎の足跡をたどり、関係した城、住まい、茶室、有楽椿などをみてその歴史文化における精神性を感じたこと。今後マップや冊子を作るにしても多くの写真が撮れたこと。
- ・大草城をより安全安心なイメージに出来たこと。
- ・有楽椿を通じて大草城を親しみのある、潤いのあるものに今年も継続してできたこと。

委嘱期間終了後の今後の展望

引き続き大草城の歴史文化的価値をたかめ、より知られるように旭南をよく知ろう会でしていくこと。また知多半島の城や愛知県内の城なども調査し、隣の大野城関係の市民とも情報交換していきたい。

城の関係では姫路城や備中松山城、岩村城の山城から近くの西尾城などの資料なども含め整理して関係のところと交流などしていくつもりです。